

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	丹波漆等伝統文化活用・支援事業			事業コード	230288						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村 正芳						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	74	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	文化財保護法、漆掻き職人移住支援補助金交付要綱、丹波漆苗木購入費等補助金交付要綱、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	やくの木と漆の館事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、普及啓発活動を団体と協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。										
対象者	市民及び伝統文化の保存・継承を行う個人・団体			対象者数	77,500		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	NPO丹波漆、やくの木と漆の館										
事業概要 (箇条書き)	福知山市の伝統文化である丹波漆、丹後和紙、由良川藍技術の保存・継承に取り組む団体の活動支援を行う。 ■丹波漆生産拡大のため苗木や獣害防止柵の購入を行う。 ■伝統工芸展示会等への参加支援を行い、「丹波漆」の魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販路等を拡大する取り組みを進める。 ■後継者の育成支援として後継者1人につき3年を限度に補助金を交付する。月額上限50千円、年額600千円。 ■後継者人材の発掘を目的とする伝統的工芸品等の製造に係る調査及び研究の体験研修等を行う事業に補助金を交付する。事業費の1/2、上限10万円。 ■丹波漆の増産を図るため、苗木を購入し育成を図る団体又は個人に対し、苗木購入補助金を交付する。事業費の1/2、上限5万円 ■漆掻き職人の育成・定着のため、賃貸住宅の家賃を補助する。家賃月額の1/2、上限2万円/月										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	旅費	39	展示会出展対応								
	需用費	654	獣害防止柵、チラシ・パンフレット印刷、事務用品								
	役務費	29	物品販売手数料、運搬料								
	使用料及び賃借料	121	展示会出展料、高速使用料、駐車場料金								
	負担金補助及び交付金	657	伝統的工芸品等後継者育成事業補助、漆掻き職人移住支援補助								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	950	2,397	2,359	1,733			
	② 補正予算	1,603	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0	0	0		
	小計(①～③)	2,553	2,397	2,359	1,733			
予算財源内訳	① 一般財源	600	1,658	927	301			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	350	0	1,432	1,432			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	1,603	739	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	△ 234					
	② 配当予算	2,553	2,163					
	③ 執行額	1,750	1,500					
	④ 執行率	68.5%	69.3%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.31 / 0.00	0.42 / 0.00	0.42 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,480	3,360	3,360	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,230	4,860	3,360	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	丹波漆等伝統文化活用・支援事業(きょうと地域連携交付金)	種類	総務費府補助金	367	実績金額	24	頁
		豊かな森を育てる基金繰入金		基金繰入金	478		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	漆生産量	g	3456 / 5300	3600 / 5300	2299 / 3600	/ 3600	3600
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	漆植栽	本	249 / 220	120 / 220	62 / 100	/ 100	220
		単位あたりコスト	15.7	13.5	24.2		
	後継者の育成	人	2 / 1	11 / 1	1 / 1	丹波漆等伝統文化活用3 支援事業	
	単位あたりコスト	1176.9	1750.0	1500.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ■丹後和紙は本市の伝統工芸品であり、その製作技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。丹後和紙の製作を行う事業者の後継者育成を支援するため、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金を交付した。 ■丹波の漆掻きは本市の伝統的な技術であり、その技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。漆掻き技術継承者に対し、福知山市漆かき職人移住支援補助金を交付した。 ■丹波漆のPR活動として、福知山市内で漆製品の発表会を開催した。また京都市内での伝統工芸展示会に参加し、ブース出展を行った。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ■丹波漆、丹後和紙、由良川藍の保存、継承に取り組む団体の活動の活性化のため、補助金の交付等により最小限の支援を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ■漆生産量増加の目標に向けて、漆の苗木を保護するネットや獣害防止柵を設置した。 ■福知山市内、京都府市内の店舗やショッピングサイトにおいて漆製品の委託販売を実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の保存、継承に取り組む団体に対して、補助金交付等により継続的に支援を行っている。 ・漆の植栽支援を行っているが、丹波漆の生産量は増加していない。植栽から漆が掻けるようになるまで約10年かかること及び漆生産の担い手が少ないことが原因となっている。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にも継続的な支援が必要である。 ・福知山市内や京都市内において漆製品の展示を行い、委託販売を行うことで、丹波漆の情報を発信している。一方で、丹波漆の生産量が少ないため、漆製品に少量しか使用できないことが課題となっている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波漆の保存、継承を行う団体が進める漆の植栽、植栽場の管理を支援するとともに、植栽場の管理方法について団体とともに検討する。 ・漆製品を小ロットで販売できる店舗との委託販売を継続し、福知山市内外の展示会へ出展することにより、丹波漆の情報発信を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	丹波漆の方向性が明確に決まるまでは、新たな取組みはおこなわない。(理事者指示)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財保全事業			事業コード	640103							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承			施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課			所属長	西村正芳						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	230	頁
計画期間	開始年度	平成4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針		R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化財保全補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国・府・市指定文化財の保全・保護を図り、後世に貴重な文化財を継承するとともに学びを深める。											
対象者	国・府・市指定文化財			対象者数	273		単位あたりコスト	25.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	所有者の実施する指定文化財にかかる修理・保全・防災事業について助言を行うとともに補助金を交付する。補助割合 国・府1/2以内 市は所有者負担額の1/2以内。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	1,515		指定文化財所有者が行う自火報維持管理費や修繕への補助								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,800	1,800	1,800	1,800	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,800	1,800	1,800	1,800		
予算財源内訳	① 一般財源	1,800	1,800	1,800	1,800	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	1,800	1,800			
	③ 執行額	1,800	1,515			
	④ 執行率	100.0%	84.2%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.83 / 0.20	0.58 / 0.30	0.58 / 0.30	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	7,140	5,390	5,390	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,940	6,905	5,390	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	維持管理・修繕未解決事項	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	維持管理・修繕実施件数	件	11 / 12	9 / 10	10 / 9	/ 11	-
	単位あたりコスト		100.2	200.0	151.5		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	

文化財保全事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護保全のため所有者が行う自火報などの維持管理や文化財の修繕に対して補助を行った。社会的ニーズは高い。 文化財の保護・保存が図れるとともに、後世に継承できるため優先度は高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 所有者負担は全事業費の1/4以上であり妥当な割合である。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財所有者からの維持管理及び修理に関する相談に対して助言を行った。 事前相談などで次年度以降の見込みを成果目標数値としていることから、成果目標は理にかなっている。また実績は実績報告書に基づき把握している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	貴重な文化財を保全・保護・継承することは地域資源及び地域を学ぶ資料として次世代への投資ともなっており、補助事業としては有効である。また、達成状況については、年度ごとに増減があるため件数を定性的な評価対象とすることは難しい。		
改善策	補助事業の実施により、貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができる。今後も継続して実施していく。未指定文化財への補助について京都府の補助制度を有効に活用できるよう、文化財所有者に対して京都府が行う無料相談会などを積極的に紹介し、周知啓発を図っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市民の財産である貴重な文化財を後世に残すため有効であるため、引き続き事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業			事業コード	640105						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村正芳						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	230	頁
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	夜久野町化石・郷土資料館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	農匠の郷やくの施設管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示										
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス㈱										
事業概要 (箇条書き)	夜久野町化石・郷土資料館の管理運営										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬・職員手当	568	臨時職員報酬・手当								
	需用費	83	燃料費・光熱水費								
	役務費	56	建物共済・電話代								
	委託料	48	機械警備・消防設備点検								
負担金補助及び交付金	105	農匠の郷やくの管理費負担金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	729	802	815	941			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	729	802	815	941				
予算財源内訳	① 一般財源	683	756	769	895			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	46	46	46	46			
決算情報	① 流充用額	0	69					
	② 配当予算	729	871					
	③ 執行額	709	859					
	④ 執行率	97.3%	98.6%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.15 / 0.15	0.10 / 0.10	0.10 / 0.10	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,575	1,050	1,050	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,284	1,909	1,050	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野町化石・郷土資料館使用料	種類	教育使用料	実績金額	9	12	頁
		電柱占用料(夜久野町化石・郷土資料館)		教育使用料		2	12	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	693 / 300	350 / 500	122 / 500	/ 500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	体験学習と企画展示	件	1 / 1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		728.2	709.0			
	単位あたりコスト		/	5 /	/		

夜久野町化石・郷土資料館運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	近隣にはこれだけ数多くの化石の展示を行っている類似施設はなくニーズは高く、施設の適切な管理運営を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	土・日・祝日の開館とし、運営の効率化やコスト削減を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	・コロナウイルス感染症により休館が続き入館者数が伸びなかったが、外部活用として京都府立大学と協働し、館内資料の整理を行い、展示方法等の検討のための材料を得ることに取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	化石という地域資源を活かした施設としては特徴的である。コロナウイルス感染症による休館のため入館者数伸びず。また、高原まつり等のイベントと同時開催をしていた体験学習等もイベント中止のため実施ができなかった。		
改善策	企画展示の開催に向け、京都府立大学が行う地域貢献型事業の取入れによる展示方法等の検討。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域資源を活かした施設として有効であり、展示内容の見直しを含め引き続き事業は実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業			事業コード	640106						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村正芳						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	230	頁
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開										
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)、㈱クリア、㈱光栄ビルメンテナンス、タキノデンキ(株)、姫路ナブコ(株)、西岡電気設備、(社)福知山市シルバー人材センター										
事業概要 (箇条書き)	・施設の管理・運営 ・来館者への案内、レファレンス										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	3,599	消耗品・光熱水費・印刷製本費・修繕料								
	役務費	182	建物共済・電話料・浄化槽法定点検								
	委託料	1,539	機械警備・浄化槽保守点検・床清掃・除雪・除草他								
	使用料及び賃借料	328	AED・複写機・印刷機等								
	備品購入費	25	車椅子								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,273	5,492	5,998	30,960				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	5,273	5,492	5,998	30,960					
予算財源内訳	① 一般財源	3,073	3,300	3,202	4,920				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	22,800				
	⑤ その他特財	2,200	2,192	2,796	3,240				
決算情報	① 流充用額	0	181						
	② 配当予算	5,273	5,673						
	③ 執行額	5,156	5,673						
	④ 執行率	97.8%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.35 / 3.05	0.30 / 3.00	0.30 / 3.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	10,425	9,900	9,900	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,581	15,573	9,900	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	日本の鬼の交流博物館使用料	種類	教育使用料	実績金額	1,842	12	決算付属資料	頁
		文化財関係図録・図書		物品売払収入	131		34		
		レプリカ販売許諾料		雑入	89		48		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	7483 / 10000	10405 / 10000	7535 / 10000	/ 10000	10000
取材等に伴うマスメディア登場回数	回	26 / 25	43 / 25	34 / 25	/ 25	25	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	特別(企画)展の回数	回	5 / 3	3 / 3	5 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		1345.6	1718.7	1134.6		
	単位あたりコスト		/	7 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼をテーマとした地域づくりの拠点であり、適切な管理運営を行った。 地域づくりの手段として必要な施設であり管理運営は優先度が高い。 鬼ブームの中、ニーズは高く、館所蔵の絵巻を使った動画を流すなど積極的にPR活動を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 入館に際しては入館料を徴収しており受益者負担は妥当である。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 来館者への資料説明及び企画展示を行った。 日本中の鬼に関する資料を収集し、情報発信を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市の地域資源である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、冊子等の取材、資料の貸し出しに関する問い合わせ等も多く、福知山市の文化的施策としてのPR効果は大きい。マスメディア登場回数も目標値を上回っている。コロナ感染症による休館により入館者数が目標値に達しなかった。		
改善策	・施設の老朽化に伴う設備の課題として、計画的な修繕が必要となる。R4年度は壁面タイルの修繕を行う予定。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福知山市の文化施設としてPR効果は高く、引き続き事業は実施する。R5年度は運営コストの見直しのために施設のLED化予算を要望。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財整理事業			事業コード	640107						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村正芳						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	230	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・文化財資料の整理作業 ・埋蔵文化財収蔵庫(天津)及び文化財収蔵庫(三和)の維持管理費										
対象者	文化財資料	対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス㈱										
事業概要 (箇条書き)	・埋蔵文化財保管倉庫と文化財収蔵庫の管理運営 ・埋蔵文化財出土品及び民具等の適切な保管と管理を行うため施設管理と運営を行う。 ・未整理文化財の整理を行い、展示及び教材として活用を行う。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬・職員手当・共済費	295	臨時職員報酬・手当・労災保険								
	需用費	141	消耗品・光熱水費								
	役務費	253	建物共済・電話代								
	委託料	108	機械警備								
	使用料及び賃借料	64	複写機								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,122	1,088	1,805	1,961	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,122	1,088	1,805	1,961		
予算財源内訳	① 一般財源	1,122	1,088	1,805	1,961	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 183			
	② 配当予算	1,122	905			
	③ 執行額	858	859			
	④ 執行率	76.5%	94.9%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.35 / 0.15	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	3,175	3,200	3,200	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,033	4,059	3,200	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	資料の保管状況	—	異常なし / 異常なし	異常なし / 異常なし	異常なし / 異常なし	異常なし / 異常なし	異常なし / 異常なし
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ミニ企画展	回	2 / 2	0 / 2	2 / 2	2 / 2	2
	単位あたりコスト		527.7		429.5		
	資料整理点数		0 / 0	0 / 0	0 / 0	100	文化財整理事業
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財資料は地域資源である。この地域資源の保管は市民の財産であり、それを保管する施設の適切な管理を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係、単位あたりコストを明確にするのは難しい 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の保管は文化財保護の基本であり成果目標は適切である 目標値どおり図書館中央館においてミニ企画展が開催した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	文化財資料の整理作業及び文化財資料を保管する施設の維持管理は後世に貴重な文化財を伝え残すのに不可欠なものである。また、資料の劣化、散逸を防ぎ後世に伝えるためにも有効である。 収蔵施設の老朽化が課題である。		
改善策	収蔵施設の長寿命化のため適切な修繕を実施していく必要がある。R4年度は三和収蔵庫の雨漏修繕を行う予定。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	文化財資料の適切な管理と整理分類を行うため、引き続き事業は実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)			事業コード	640125						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村正芳						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	230・232	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	文化財保護法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・範囲・内容等詳細不明な遺跡の実態調査のため測量及び試掘等を行い、調査範囲周辺での開発計画に対応する遺跡の保存保護資料を得る。 ・出土した金属製品を後世に引き継ぐため保存処理を行う。										
対象者	埋蔵文化財	対象者数	1	単位あたりコスト	6,027.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(社)京都府シルバー人材センター、(株)アクセス、(株)吉田生物研究所										
事業概要 (箇条書き)	・川北地区 段ノ田遺跡(伝東禪寺跡)の範囲内容確認調査 ・池ノ谷1号墳出土鉄製品保存処理										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬・職員手当・共済費	55	臨時職員報酬・手当・労災保険								
	旅費	7	職員普通旅費								
	需用費	126	消耗品・燃料費・印刷製本費								
	役務費・委託料	1,567	汲み取り・作業委託・実測・保存処理								
	使用料及び賃借料	273	自動車借上・仮設トイレ借上								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,000	2,000	2,000	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	2,000	2,000	2,000	0				
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500	0			
	② 国支出金	1,000	1,000	1,000	0			
	③ 府支出金	500	500	500	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	68	35					
	② 配当予算	2,068	2,035					
	③ 執行額	2,063	2,027					
	④ 執行率	99.8%	99.6%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.60 / 0.05	0.50 / 0.00	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,925	4,000	4,000	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,988	6,027	4,000	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市内遺跡発掘調査事業	種類	教育費国庫補助金	実績金額	1,000	22	頁
		市内遺跡発掘調査事業		教育費府補助金		500	30	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	遺跡内容把握	件	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	-
保存処理点数	点	0 / 0	0 / 0	1 / 1	1 / 1	-	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	調査件数	件	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	-
	単位あたりコスト		2013.1	2063.0	2027.0		
	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)			11 /	/		
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財保護の観点から、段ノ田遺跡の範囲内容確認調査を行った。 郷土資料として後世に伝えるため池ノ谷1号墳出土金属製品の保存処理を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	直営ではあるが、事業に必要な業務(実測・保存処理・自動車借上)については、複数業者から見積もりを徴取するなどコスト比較を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	段ノ田遺跡の範囲内容把握をすることにより、今後の開発事業に迅速に対応できる。調査規模や調査期間などから年1回実施するのが適切であり、成果目標は理にかなっている。また、実績においても適切に把握・測定できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	埋蔵文化財の範囲内容が確認されることにより、開発行為から埋蔵文化財保護のため方針を立てることができ、市民の貴重な財産である埋蔵文化財の保護につながる。また、調査により得られた資料は市民が郷土学習の資料として活用することができる。		
改善策	開発事業に先行し、遺跡の範囲内容を確認する必要がある。R4年度は長田・上松遺跡の範囲内容確認調査を行う予定。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	次年度以降、大型の発掘調査事業が続く見込みがあり、調査地域の見直しを行う中で令和5年度の予算要求は行わない。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財保護啓発事業			事業コード	640139						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村正芳						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	232	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する										
対象者	市民	対象者数	76,300	単位あたりコスト	0.2						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(有)チームワーク、アートボックス、(株)オカムラ、(株)西日本エスエスシー、個人										
事業概要 (箇条書き)	・文化財保護審議会の開催 ・未指定文化財の調査 ・出前講座の実施 ・国府市指定文化財候補の調査 ・資料館、博物館での展示 ・各種開発に対する埋蔵文化財保護のための調整										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	160	審議委員会報酬								
	旅費	60	審議委員費用弁償・職員普通旅費								
	需用費	324	消耗品・印刷製本費・光熱水費								
	役務費・委託料	382	郵送代・看板作成設置他								
	使用料及び賃借料	139	看板賃借料他								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,410	1,368	1,343	2,202				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,410	1,368	1,343	2,202					
予算財源内訳	① 一般財源	1,410	1,368	1,343	1,731				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	471				
決算情報	① 流充用額	△ 68	△ 103						
	② 配当予算	1,342	1,265						
	③ 執行額	1,084	1,065						
	④ 執行率	80.8%	84.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.82 / 0.35	1.52 / 0.60	1.52 / 0.60	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,435	13,660	13,660	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,519	14,725	13,660	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	文化財指定件数	件	25 / 1	7 / 1	8 / 1	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	展示回数	回	8 / 3	3 / 3	8 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		183.9	361.3	133.1		
	単位あたりコスト		/	13 /	/	/	文化財保護啓発事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	文化財保護のため指定や普及啓発活動を行うことは、未来へと文化財をつないでいくことにつながり優先度は高い。展示については、鬼ブームをはじめ社会状況に即した展示を行った。また、現地にて直接市民が文化財に触れる機会として文化財巡りを行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象を絞り、まとめて行う効率的な調査の実施がコスト削減に直結している。 実施した指定文化財調査(円満院・旧大日寺跡・威光寺) 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会を開催し指定に関する協議を行った 円満院・旧大日寺跡・威光寺において指定文化財調査を行った。 博物館展示、図書館展示を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 未指定文化財の調査研究結果に基づき、文化財保護審議会での審議を経て目標通り年1件以上の指定を行っており適切に業務をおこなっている。 展示についても計画どおり実施されている。 市内文化財の把握密度を高めるため悉皆調査を実施する必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れ(近年の調査研究成果)を反映した指定が必要であるとともに、調査対象についても近現代も視野に入れるなど時代幅を広げる必要がある。 		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	実績は目標数値を満たしている。引き続き文化財の保護啓発に取り組んでいく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城天守閣管理運営事業			事業コード	650303						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村 正芳						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	76	頁
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山城天守閣条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。 福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。										
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)			対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、大槻ポンプ工業株式会社福知山営業所、西川電気設備管理事務所、大槻冷熱設備有限公司 ほか										
事業概要 (箇条書き)	■施設・設備の維持・管理、特別展・企画展の企画・開催 ■受付・案内業務 ■歴史資料・郷土資料の収集と保存・保管、研究 ■企画展・体験会等普及活動の実施 ■福知山城関連の観光イベント、メディア等の取材協力										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬	2,796		臨時職員報酬							
	職員手当等	189		臨時職員職員手当等							
	報償費	10		展示品借用謝礼							
	需用費	2,396		光熱水費、施設修繕、事務用品等							
	役務費ほか	4,285		電話代、機械設備維持管理業務、機械警備業務、清掃業務、受付業務、コピー機使用料、AED借上げ料							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	11,992		13,070		16,728		14,398		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	11,992		13,070		16,728		14,398			
予算財源内訳	① 一般財源	0		86		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		4,000		0		
	⑤ その他特財	11,992		12,984		12,728		14,398		
決算情報	① 流充用額	3,280		△ 926						
	② 配当予算	15,272		12,144						
	③ 執行額	15,272		9,678						
	④ 執行率	100.0%		79.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.33 / 2.88	0.40 / 2.96	0.40 / 2.96	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,840		10,600		10,600		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	25,112		20,278		10,600		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城御城印		種類	物品売払収入		1,900		34	頁
		福知山城入館料			総務使用料		7,778		8	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	101238 / 50000	109189 / 50000	39134 / 60000	/ 50000	50000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	307 / 334	312 / 365	223 / 305	/ 365	365
	単位あたりコスト		35.9	48.9	43.4		
	単位あたりコスト		/	15 /	/	/	福知山城天守閣管理運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>文化的な価値や観光スポットとしてだけでなく、福知山市を象徴する施設として重要性、必要性は高い。 施設を維持し、快適に利用できるようにするため、設備点検や清掃・受付業務などを行った。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>前年度のデータを基に職員配置などを最低限で行うなど、効率的・効果的に運営している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館が多かった中、出張！お城EXPOにブース出展するなど、PR活動を行い入館者増に向けた取り組みを行った。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館日数が多かったが、大河ドラマ放送で伸びた入館者数が放送以前並みに戻っているため、一時の話題性で伸びた入館者数をどうキープしていくかが課題である。</p>		
改善策	<p>一時の話題性だけでなく、福知山城の持つ魅力が増していくよう企画運営に努め、周知していくことが重要である。また、現在は優先度の高い箇所から改修が続いているが、今後は長期的な展望をもって改修を行っていく必要がある。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>計画的な修理補修を検討していく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	丹波生活衣館管理運営事業			事業コード	650309							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承			施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課			所属長	西村 正芳						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	丹波生活衣館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	丹波生活衣館の歴史と特色を紹介し、織物体験や製作物の物品販売を通じて来館者に地域の伝統文化を継承し、学びを提供していく。											
対象者	市民、入館者、観光入込客、施設利用者			対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社昭和リース、(社)福知山市シルバー人材センター、大槻冷熱設備株式会社、姫路ナブコ株式会社、株式会社浄美社 ほか											
事業概要 (箇条書き)	丹波生活衣を中心とする文化資料の収集及び保存、展示会の開催による文化資料の展示及び供覧、調査及び研究、ギャラリーや研修室の活用をはかり、展示発表その他の文化活動の利用に供する。市民と協働し、自主事業や寄贈資料の整理作業を実施。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬	1,191		臨時職員報酬								
	職員手当等	80		臨時職員職員手当等								
	報償費	62		講習会等講師謝礼								
	需用費	1,601		光熱水費、施設修繕費、事務用品等								
	役員費ほか	2,690		電話代、除草作業、機械設備保守管理業務、警備業務、施設清掃業務、用地賃借料、AED借上げ料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,959	4,959	5,264	5,580				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	4,959	4,959	5,264	5,580					
予算財源内訳	① 一般財源	4,361	4,361	4,666	4,964				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	598	598	598	616				
決算情報	① 流用額	1,892	791						
	② 配当予算	6,851	5,750						
	③ 執行額	6,628	5,624						
	④ 執行率	96.7%	97.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.39 / 2.01	0.43 / 2.02	0.43 / 2.02	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,145	8,490	8,490	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,773	14,114	8,490	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	講座材料費	種類	雑入	実績金額	124	決算付属資料	48	頁
		生活衣館使用料		総務使用料		120		8	
		丹波生活衣館加工品等		物品売払収入		75		34	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	8656 / 10000	10077 / 10000	3626 / 10000	/ 10000	10000
施設貸し室件数	件	86 / 100	114 / 100	85 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	展示会・講座・教室の回数	件	25 / 25	30 / 25	20 / 25	/ 25	25
	単位あたりコスト		218.5	220.9	281.2		
	単位あたりコスト		/	17 /	/	/	丹波生活衣館管理運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>地域に伝わる丹波生活衣は市重要文化資料の指定を受けており、後世に残していくことは重要である。 明治から昭和初期の収蔵品の展示や織物体験などの体験教室などを行い、地域に伝わる生活衣の文化の継承に寄与した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>効率的な運営を図るため、施設職員と丹波生活衣同好会が協力して独自で特別展や共催企画展を企画、運営している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>伝統文化を有効的に伝えるだけでなく、施設利用者を増加させるために手作り講習会や藍染講習会などの企画展や講習会を行っている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>地域に伝わる文化資料を収集し適正に保存し展示することで後世に伝えていくという役割を果たしているといえる。しかし、どのような人がどのような目的で利用しているか判断するためのデータがなく、今後の目標の方向性が不明確な点が課題である。</p>		
改善策	<p>今後、入館者アンケート等を実施し、現況をしっかりと把握した上で効果的な企画運営に役立てていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>現状の企画にプラスして、新しい企画を検討していきたい。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	治水記念館管理運営事業			事業コード	650311							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承			施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課			所属長	西村 正芳						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市治水記念館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市と治水や水害に関わる歴史に関する展示を実際に水害に見舞われてきた町屋を用いて行い、治水の歴史を地域に根差して後世に伝えていく。											
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)			対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	柳菱クラブ											
事業概要 (箇条書き)	■施設の管理 ■受付案内業務 ■企画展・関連イベントの企画開催・運営 ■明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用する。 ■防災センターと連携して、水害や治水の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る。 ■より多くの来場者を得て市民全体の防災意識向上を図るため、入館料を無料としている。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	1,783	臨時職員報酬									
	職員手当等	120	臨時職員職員手当等									
	需用費	330	光熱水費、消耗品									
	委託料	821	機械警備業務、案内業務									
	役員費ほか	131	役員費、使用料及び賃借料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,826	3,358	3,544	4,089	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	3,826	3,358	3,544	4,089		
予算財源内訳	① 一般財源	3,826	3,358	3,544	4,089	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流用額	228	△ 95			
	② 配当予算	4,054	3,263			
	③ 執行額	3,964	3,185			
	④ 執行率	97.8%	97.6%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.41 / 0.00	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	3,280	3,200	3,200	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,244	6,385	3,200	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	2208 / 1000	1900 / 3300	1603 / 3300	/ 3300	3300
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	289 / 305	258 / 305	202 / 305	/ 305	305
	単位あたりコスト		12.6	15.4	15.8		
	延べ語り部活動従事者数	人	600 / 3300	350 / 1000	179 / 1000	/ 1000	1000

	単位あたりコスト	1.4	2.1	17.8		
--	----------	-----	-----	------	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	福知山は歴史的に水害の多い地域であり、由良川の水害、治水に関する歴史的資料を後世に残していくことは重要である。これらを伝え、多くの人に普及していくために常設展に加え防災グッズ店などの特別展を開催し、来館者増に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	語り部である柳菱クラブ会員に案内業務を委託し、来客が多く見込まれる日に勤務いただくことで水害の歴史を伝えていくことができています。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	歴史的建造物である町屋建物を、治水防災の歴史と文化を紹介するだけでなく、五月人形展などの特別展にも有効活用し入館者増に向けて取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	治水と水害の歴史を体験と合わせて学べる施設として役割を果たしている。しかし、入館者数が目標を達成できておらず、近年語り部の高齢化による減少で、これまでのように体験談を来館者に伝えることが難しくなっている点が課題となっている。		
改善策	特別展などの広報を積極的に行い来館者を呼び込む。また、語り部の体験談をデジタルデータで保存し、展示することで後世に残していくことに加えて、現在各地で起こっている災害に関する展示を行い、これからの防災について検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	語り部が高齢化していることもあり、動画資料で後世に残していくためにR5年度に動画撮影・編集をおこなう。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	芦田均記念館管理運営事業			事業コード	650316						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承		施策コード	431						
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課		所属長	西村 正芳						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	芦田均記念館条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市市内唯一の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相に関する資料を保存及び活用することで、地域文化の向上に寄与する。										
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	芦田均元首相顕彰会										
事業概要 (箇条書き)	■施設・設備の維持管理 ■受付案内、施設使用許可申請業務 ■芦田均関係資料の収集・整理・保管・展示 ■企画展・関連イベントの企画・開催・展示 ■資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容						
	役務費		31		損害保険料						
	委託料		3,874		指定管理料						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,918		3,909		3,911		3,911					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①~③)	3,918		3,909		3,911		3,911						
予算財源内訳	① 一般財源	3,863		3,854		3,856		3,856					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	55		55		55		55					
決算情報	① 流充用額	13		0									
	② 配当予算	3,931		3,909									
	③ 執行額	3,906		3,905									
	④ 執行率	99.4%		99.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.31	/	0.00	0.31	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	2,480		2,480		2,480		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,386		6,385		2,480		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	芦田均記念館使用料		種類	総務使用料		実績金額	12		8	頁		
		電柱占用料(芦田均記念館)			総務使用料			2				8	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	3048 / 3200	1800 / 3500	1496 / 3500	/ 3500	3500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	291 / 310	271 / 310	239 / 310	/ 310	310
	単位あたりコスト		12.9	14.4	16.3		
	イベント開催回数	回	9 / 5	2 / 5	1 / 5	/ 5	5
	単位あたりコスト		552.0	0.0	3905.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ■福知山市市内唯一の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相の事跡を紹介し、顕彰するため、資料等の管理及び展示を実施した。 ■地域住民の文化活動の場を設けるため、多目的ホールや和室の貸室を行い、囲碁教室や研究会に利用された。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入し、地元住民を中心とする組織である芦田均元首相顕彰会に施設の管理、施設利用受付、清掃等を委託した。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ■入館者数増加の目標に向けて、指定管理者による自主事業が計画されていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、文化講演会・囲碁大会等の事業が中止となった。その中で、実施可能な事業として書初め大会が開催された。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による、著名な有識者を招いての講演会が記念館事業のメイン事業となっており、他にも地元住民による作品展を開催するなど、多様なテーマの自主事業を実施している。 帰郷者が多く訪れる正月三が日にも自主的に臨時開館するなど、指定管理者の積極的な運営がみられる。 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館、自主事業の中止により、入館者数及びイベント開催回数が減少している。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 芦田均元首相に関する資料の紹介、発信方法を指定管理者とともに検討する。 施設の運営について、指定管理者制度の見直し等もふまえて検討する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今後の指定管理者をどうするか検討をおこなう。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	額田ダシまつり補助事業			事業コード	130321							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承			施策コード	431						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	—	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	額田ダシまつり(額田のダシ振興会)補助金交付に関する要綱、額田ダシまつり(額田区自治会長会)補助金交付に関する要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	—											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されている額田のダシまつり(江戸時代から続く独自の伝統文化)を後世に継承し、観光資源として広くPRする。											
対象者	観光客及び額田地域住民			対象者数	10,000			単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	額田ダシ振興会、額田区自治会長会											
事業概要 (箇条書き)	「額田ダシ振興会」及び「額田区自治会長会」への補助金交付事業。 額田ダシまつりの概要 ・実施日: 10月第2土曜日、日曜日 ・実施場所: 福知山市夜久野町額田地内 ・事業内容: 宣伝用チラシやポスターの製作及び案内看板の設置や、上ダシ・下ダシ(五穀豊穣に感謝して野菜等の「つくりもん」)を制作、展示する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	223		323		223		323	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)	223		323		223		323		
予算財源内訳	① 一般財源	0		323		0		100	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	223		0		223		223	
決算情報	① 流充用額	△ 223		△ 323					
	② 配当予算	0		0					
	③ 執行額	0		0					
	④ 執行率	0.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 0.00		0.00 / 0.02		0.00 / 0.02		0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	400		50		50		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	400		50		50		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
							決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入り込み客数	人	4000 / 10000	0 / 10000	0 / 10000	0 / 10000	/ 10000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	下ダシ製作数	個	7 / 7	0 / 7	0 / 7	/ 7	7
	単位あたりコスト		31.9	0.0			
	上ダシ製作数	個	2 / 2	0 / 2	0 / 2	/ 2	2
単位あたりコスト		111.5	0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されており、地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに対する支援が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	地元による自立・自主運営となるよう、文化財保護の視点で必要となる経費を除き、補助金について精査し減額を行ってきた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されており、地域文化の継承だけでなく、特色ある観光資源としての価値も注目されている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	夜久野学園や保育園のダシ制作等により、伝統文化の継承という目的は一部達成できているが、入込客数が減少傾向となっている。コロナ禍でこの2年開催できなかったことで、作り手、担い手の減少や技術の継承等、再開に影響を与えるのではないかと懸念している。地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、市としては支援を継続する必要がある。		
改善策	「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、アフターコロナを見据えたインバウンド等も含めたPR戦略等を検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○補助金の額は令和4年度と同額とし、協賛金等資金獲得に努めてもらい事業の安定を図る。(額田ダシ振興会補助については、府の補助金における対象事業がない)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	やくの木と漆の館事業			事業コード	230215							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承			施策コード	431						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	丹波漆等伝統文化活用支援事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしを支えてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に設置された「やくの木と漆の館」を、丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作ること、丹波漆の良さを伝えていく。											
対象者	市民、利用者			対象者数	1,500			単位あたりコスト	8.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	やくの木と漆の館の施設管理及び事業運営 ・建物、物品管理の維持管理 ・漆器の制作、販売 ・漆に関する資料展示と広報宣伝活動、漆塗り体験教室等の実施、ギャラリー展示											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費・原材料費	2,081		電気・水道代、消耗品、木地等加工材料								
	報酬・職員手当等・報償費・負担金補助及び交付金	798		臨時職員報酬・手当、教室講師料、年会費等								
	役務費	305		通信運搬費、手数料、保険料								
	使用料及び賃借料	70		複写機使用料								
	備品購入費	45		手提げ金庫、作業用電気スタンド								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,779		3,940		5,688		6,110		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	3,779		3,940		5,688		6,110			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	1,906		1,961		1,813		2,949		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		1,800		0		
	⑤ その他特財	1,873		1,979		2,075		3,161		
決算情報	① 流充用額	△ 122		△ 253						
	② 配当予算	3,657		3,687						
	③ 執行額	3,617		3,299						
	④ 執行率	98.9%		89.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.48 / 2.55	0.26 / 3.05	0.26 / 3.05	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	10,215		9,705		9,705		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,832		13,004		9,705		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	やくの木と漆の館入館料		種類	総務使用料		282		8	
		やくの木と漆の館事業(地方創生推進交付金)			総務費国庫補助金		1,177		16	
		やくの木と漆の館物品			物品売払収入		1,838		46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入館者数	人	1364 / 1500	1012 / 1500	857 / 1500	/ 1500	1500
蒔絵・金継ぎ教室参加者	人	205 / 300	179 / 300	109 / 300	/ 300	300	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	蒔絵・金継ぎ教室開催	日	30 / 33	38 / 33	28 / 33	/ 33	33
		単位あたりコスト	111.0	95.2	117.8		
	企画展等開催	回	5 / 12	26 ³ / 12	2 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト	666.2	1205.7	1649.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>やくの地域の伝統文化である丹波漆を福知山市のブランド品にしていいため、市の文化局や観光部局とともにNPO法人丹波漆とも連携し、市が主体となって推進していく必要がある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>NPO法人丹波漆が漆を植栽し育て、やくの木と漆の館において漆器の展示・制作・販売・体験等を行うことにより役割分担ができ、官民が連携する形で漆の魅力を発信している。また、漆に精通した職員の配置は、漆器の製作、体験等の対応に適切である。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>「農匠の郷やくの」の施設の運営事業のひとつとして、観光振興に資する事業である。体験・教室の実施により、来館者は一定確保できているが、コロナ禍による閉館や教室開催の中止の影響は実績に表れている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>丹波漆の伝統として、また、漆塗りや絵付けなど様々な漆芸が行える体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。また、文化庁が国宝や重要文化財の修復にかかる上漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示す中、京都府も夜久野地域の漆の再生にむけて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆との連携が強化された。コロナ禍により、閉館時期があったり、イベント・教室の開催を減らしたりしたため、成果活動実績は目標に達しなかった。</p>		
改善策	<p>アフターコロナを見据えながら、道の駅「農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設との連携により、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等との連携、インバウンド対策、PR戦略等を検討する。そのためにも、現在、殆どが休館となっている「農匠の郷やくの」の全体活用の方向性を早期に確定させていく。文化庁が京都府に移転し、国との連携も視野に入れた漆振興策も検討する中、ECサイトを活用した漆製品のPR等、新たな販売戦略も含めた振興策を検討していく。更にコロナ禍が続く状況では、限られた館内スペースでの増員目標には無理があり、出張体験やショップの出店を通じた漆文化のPRに努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>文化・スポーツ振興課所管の「丹波漆活用事業」や「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討していく。また、国との連携も視野に入れた漆振興策を検討する。</p> <p>定期的で開催している蒔絵教室や金継ぎ教室、随時受け付けている絵付け体験、また、一年を通し実施している彫刻家等によるワークショップ等、漆の振興につながる取組を継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	元伊勢八朔祭補助事業			事業コード	130332							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承			施策コード	431						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	—			単位あたりコスト				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	元伊勢八朔祭練込保存会											
事業概要 (箇条書き)	「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対する補助金。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要：■実施日：9月の第1日曜日 ■実施場所：大江町天田内・内宮・二俣地内 ■事業内容：奴行列、鳥毛廻し、練込み祭礼											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	0		新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業中止のため未執行となる。								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	60	160	60	60	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	60	160	60	60		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	60	60	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	60	160	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	60	160			
	③ 執行額	0	0			
	④ 執行率	0.0%	0.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.02 / 0.05	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	285	400	400	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	285	400	400	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入込客数	人	500 / 1500	— / 1500	— / 1500	— / 1500	— / 1500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	1 / 1	— / 1	— / 1	— / 1	1
	単位あたりコスト		60.0	0.0			
	鳥毛廻し参加地区数		3 / 3	28 / 3	— / 3	— / 3	3
単位あたりコスト		20.0	0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響を受け、感染症拡大防止の観点から元伊勢八朔祭礼練込みは中止となったが、伝統の継承及びイベントによる地域活性化の取組みは地域組織により継続して行われており、伝統的行催事保存の目的は、達成されている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 市補助金に依存する運営とならないよう自主財源や他の助成による運営を促すため、団体との協議により補助金の減額を行い、現補助額となっており、補助額は、対象経費を精査した上で、妥当な額である。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果の入込客数については、未実施により目標数値との乖離はあるが、目的である地域文化の継承においては、団体の活動により次代に引き継がれている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼練込み」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」の活動は、コロナ禍の影響を受け未実施であったが、保存会の地域内での活動により、登録無形民俗文化財の継承が行われ、次代に引き継がれている。 保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において伝統的行事の継承と伝統の発信の活動が継続されており、目的を達成している。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地区人口の減による伝統継承者の不足が課題にあり、伝統的行催事の保存継承者の確保が必要とされ、地域外で生活されている地域出身者にも協力を求め、保存継承者の確保を図っている。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---